

個別施設計画策定までの流れ

平成28年度
(2016)

公共施設等総合管理計画

公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、公共施設等の最適な配置を実現するための基本的な方針を定めたもの。

平成29
～30年度
(2016～2018)

公共施設のあり方 (第1期整備方針)

市民サービスの水準を維持しつつ中長期的な(=おおよそ10年間)公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などのあり方を示すもの。

特に、財政的な影響が大きく機能の重複が見られる施設の見直し、市内に点在する行政機能や保健・福祉機能の再編について検討する。

【個別施設のあり方】

・転用

・譲渡

・解体

・複合化

・集約化

・広域検討

・保全・更新

平成31
～32年度
(2019～2020)

個別施設計画

(譲渡)

跡地の利用計画

個別施設計画

個別施設計画

(長期的に検討)

個別施設計画

●個別施設計画とは...

個別施設毎に施設管理者(所管課)が定める長寿命化や保全を行うためのアクションプラン

対策内容や実施時期、対策費用などを計画的に定めたもの。